

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市新田児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 50,680人 (前年度比 87.9%) 平成30年度 57,689人 平成29年度 54,934人 平成28年度 48,596人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 55,452 千円 (53,635 千円) その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 0千円 (0千円) その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	リーフレットや児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、運営場所が4か所に亘る中、職員間の連携を図りながら、一年を通して適切に運営することができた。また、小・中学生の自由来館については、子どもたちの日常的な遊び場としての利用が多く、今年度はドッジボール大会を開催するまでに自由来館での遊びが盛り上がった。職員全体での共通理念のもと、遊びを中心とした子どもの自主的な活動を保障・支援し、社会に自ら関わる力を育てている。保護者や学校との情報共有を図り、連携した育成支援に努めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場）による自己評価》
<p>①開館10年、来館者は430,000名を超えた。新田学区連合町内会をはじめとする地域諸団体に支えられ繋がりを深めることができ「おらほの児童館」と呼ばれるまでとなった。町内会の一員としての意識を職員全員が持ち、地域の思いと来館者に寄り添い対応することができた。②自由来館児童は一日平均25名で、中学生の放課後利用も昨年度の2倍となった。③小学生のドッジボール熱は高く、初めて元気フィールドと共催でドッジボール大会を行った。榴岡児童館からの参加もあり学校間の交流に繋がった。④でんでんタイムは小学生が企画運営しているが、発達上の支援を要する児童の自主性も尊重し子ども同士が頑張っている。子どもの社会参画の機会として、市内児童館全体で行った「まるごと児童館」で小学生がダンスを披露した。自己肯定感が高くなっている。⑤児童館まつりには児童クラブ保護者会の協力で地域ボランティアを含む1078名が参加した。家族ぐるみや地域世代間交流の場として定着している。開館当初より行っている切り絵教室は小学生も参加し地域の文化向上と世代間交流に大きな役割を果たしている。⑥地域のメディアリテラシーと文化向上を目的として2回の地域公開セミナーを小学校で開催できた意義は大きい。⑦孤立しない子育てを支援するために「NOKISITAねっと」を組織して5年が経ち、子育て状況や情報の共有だけでなく相互支援を行うまでとなった。育パパが参加するパパ・グランパや児童館まつりでの父親ボランティア、親子で参加する行事等で父親の居場所をつくることができた。⑧大規模児童クラブは新田小と新田コミュニティセンターとの連携の基、本館と4分室で丁寧に行うことができた。児童の健全育成に努めながら保護者の相談に対応し、包括的な支援を目指した。「そあとの庭」には親子共に高評価を頂いた。坪沼地区での活動は、自然に触れながら子どもたちを逞しくさせている。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>子育て家庭支援事業では、乳幼児親子フェスティバル「フルーツバスケット」で新田地区子育て連絡会「NOKISITAねっと」のメンバーがボランティアとして参加するなど、地域と連携した子育て支援に取り組んでいる。また、「新田カフェ」や子育て支援クラブとの共催行事、年齢別の「ひろば」をはじめとした充実した多くの行事を通して、児童館が母親同士のつながりの場となるよう努めている。</p> <p>児童健全育成事業は、館外ワークショップ「そあとの庭」での坪沼自然体験を通じた子どもの健全な心身、自己肯定感の育ちを増進し、子どもが遊びを計画、実行する「でんでんタイム」や買い物から食事作りまで全て子ども達が行う「お泊り会」では、主体的な成長を促し社会性を育てるなど、豊かな体験を通じた子どもの自立を見守る支援が行われている。こうした児童の有意義な経験が、中高生のボランティア育成にもつながり、児童館との継続した関わりをもたらしている。また、「切り絵教室」や「新田ハロウィンパレード」、「オータムコンサート」など地域からの人気も高い活動を通して、地域と子ども達との交流事業も継続している。</p> <p>子育てセミナー「菅千代先生を囲んで」では、母親たちに深く寄り添う講師の姿に職員も学びを深め、児童館を中心とした今後の子育て支援に繋がっていくことが期待できる。地域の団体との協力体制を築き、地域公開セミナー「脳の発達と音楽」、「子どもとメディア」など専門性の高い講演会を小学校で開催したことで、より多くの地域の人たちに子どもの育ちに関する理解を深める機会を提供した。多彩な事業を通して子どもの育ちを支援し、また児童館が中心となり地域や家庭への啓発を図りながら、地域が一体となって子どもが育つより良い環境づくりに積極的に取り組んでおり、評価できる。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課